

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	小牧市民まつり開催委託事業				担当部	地域活性化営業部				
	会計区分	一般会計				担当課	シティプロモーション課				
	事業期間	平成26年度以前 ~ 平成30年度まで				担当係	にぎわい創出係				
	基本施策・展開方向	5 産業・交流		18 シティプロモーション		3 魅力あるイベント・まつりを開催します					
	予算区分	款	7	項	1	目	4	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的	何・誰を対象に	市民及び観光客								
		どのような状態にするのか	市民の幅広いふれあい、交流を目的として、市民・行政・企業が一体となった運営・企画を行い、より多くの市民に親しまれ、参加してもらえるまつりとする。								
		内容(手段)目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆28年度実施内容</p> <p>・市民参加型の交流を目指し、参加する方も見る方も楽しく、また来たくなるようなまつりの実施を市民まつり実行委員会へ委託した。市はその実行委員会の事務局運営を行った。28年度は、市のシンボルロードである小牧駅前線を活用するパレードコースに変更し、多くの来場者があった。駅前と市民会館を結ぶ動線が生まれ、相乗効果により各会場は、よりにぎわいを創出することが出来た。また、市民まつり専用のHPを開設し、プロモーションに努めた。</p> <p>会場:小牧山、市民会館・市民公民館、まなび創造館、メロディーパーク、駅西駐車場、パレード</p> <p>経費:市からの委託金、市内外の各事業所からの協賛金</p> <p>◆28年度直接経費の内訳 ・市民まつり開催委託料 36,000千円</p> <p>【参考】全体の歳入 50,331千円(内 委託金 36,000千円、協賛金等 14,331千円)</p> <p>【現在の会場】</p> <p>「小牧山会場」:メイン会場。歴史と自然溢れる小牧山全体を活用し、親子で楽しめるイベントを多く開催。</p> <p>「市民会館会場」:「食べる・見る・遊ぶ」のバランスのとれた会場で、幅広い年齢層が楽しめる。</p> <p>※八雲コーナー、こまきフレンドパーク(子どもが遊べる場)、バレエ、琴、民謡等</p> <p>「まなび創造館」:お茶、お花、歌など楽しめる文化会場。</p> <p>「メロディーパーク」:ダンスを中心とした新しい小牧を発見できるような会場。キッズ達があつまる。</p> <p>ご当地グルメフェアを開催し、県外のグルメが楽しめる。</p> <p>「駅西駐車場」:市民によるフリーマーケットが楽しめる。市民のふれあい、リサイクルの促進が図られる。</p> <p>◆29年度直接経費の内訳 ・市民まつり開催委託料 37,000千円</p>								
		受益者負担	無								

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	35,000	43,132	36,000	37,000	
		正職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.00
			人件費	千円	5,628	5,628	5,628	5,628
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	40,628	48,760	41,628	42,628
	対前年比		%		120.0	85.3	102.4	
財源	一般財源	千円	40,628	48,760	41,628	42,628		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	績	総行事数	行事	目標	170	170	210
実績				166	209	215	
	開催会場数	箇所	目標	6	6	6	6
			実績	6	6	6	
業	成果指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	来場者数	人	目標	185,000	200,000	190,000	190,000
実績			185,000	210,000	190,000		
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成28年度の実施結果	事業の達成状況	前年度に比べると、来場者は減少した。これは、60周年記念事業のディズニーパレードの影響が大きかったためである。記念事業がない26年度と比べると、増加した。駅前会場と市民会館をつなぐシンボルロードにパレードコースを変更した。また、行事数も増え、よりにぎわいを創出することができた。					
	平成29年度の実施内容	事業実施における課題	関心が低下しないように、より魅力的な市民まつりとなるように検討する必要がある。					
	平成29年度の実施内容	29年度における実施内容や結果見込み	昨年度から変更したパレードコースの定着化と、さらなる活性化を図り、まつり全体を盛り上げる。					
	平成30年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの				
平成30年度の事業の方向性	削減額・削減対象	事務事業評価による額	299	千円	予算区分	13	節	節
	判定理由・削減内容	来場者に行ったアンケートでは、約90%以上の方が楽しかったと回答しており、満足の高いまつりとなっている。2日間で19万人もの来場者がある。また、行事に参加する団体も増加しており、市民の多くが参加し、楽しみにしているまつりとなっている。しかし、市民まつりの財源でもある企業からの協賛金が年々減少しており、現在の水準を維持するためには、経費の削減が必要である。						
平成30年度の事業の方向性	30年度以降の実施内容	31年度以降、駅前会場が使用できなくなることから、会場の再編を行い、来場者の満足度を下げることなく、経費の削減を図っていく。						

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	一次評価のとおり。 平成30年度以降の事業費（一般財源）は、原則的に、平成29年度当初予算の金額から本年度の事務事業評価による額を控除した金額を上限とするともに、引き続き、効果的・効率的な事業実施に努められたい。